

第57回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成28年8月7日（水）18：30～20：00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 13人

3 会議内容

(1) 宮本輝の青春時代を体験する「青が散るツアー」（新規提案）

内 容

- ・追手門学院大学インターンシップ（8月3日～9月11日のうち20日間、学生2人を受入）
- ・市内在住の芥川賞作家で同大1期生の宮本輝さんが、4年間の大学生活をもとに描いた小説「青が散る」の世界を体感するツアーを創立50周年記念として開催。
- ・インターン生のガイド付きで小説の舞台である大学構内や宮本輝ミュージアムなどを案内。
- ・ツアー開始前にことば蔵でビブリオバトル（テーマ「輝」）も実施。

今 後

- ・8月24日（水）にリハーサルを行い、次回運営会議で感想や改善点について相談。

(2) 障がい者週間事業（前回の続き）

内 容

- ・障がい者週間（12月3日～9日）に社会福祉協議会と連携したイベントを開催したい。
- ・障がいに関する紙芝居や本の紹介、図書館の障がい者サービスのPR。
- ・車イスの体験、手話講座、吃音講座なども併せて実施。
- ・真っ暗にした部屋を使って、目の見えない人の体験コーナーを設置。

今後

- ・障がい者の方と交流できるイベントを増やしたい。→カエボンのような本を介した交流など
- ・各自でアイデアを考えていただき、次回運営会議で提案してもらいたい。

(3) みんなのウィンターセミナー（新規提案）

内容

- ・尼崎市で開催している「みんなのサマーセミナー」がモデル。
- ・まちのオモロい人やスゴい人は誰でも先生になれて、学びたい人なら誰でも生徒になれる。
- ・ことば蔵で、冬にウィンターセミナーとして開催したい。

意見

- ・尼崎のコピーでは物足りない→伊丹ならではな特徴が必要
- ・図書館でやることの意味合いが足りない。→「本」「ことば」の要素を入れるべき
- ・誰でも先生になれることによるリスク。→先生にふさわしくない人でも先生に？（線引きが難しい）

(4) まわしよみ新聞（新規提案）

内容

- ・新聞をコミュニケーションツールとして応用し、高齢者の居場所作りをしたい。
- ・図書館の新聞を使って、気になった記事を切り取り、グループ内（4～5人）で紹介。
- ・記事を模造紙に貼り付けて、参加者全員で発表。館内でも掲示したい。
- ・子どもでも参加可能で、世代間交流にもつながる。

今後

- ・読書週間などに合わせて開催できないか調整する。

4 次回の運営会議

平成28年9月7日（水）18：30～

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア